

日本YMCA同盟

THE YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.779 2018

2018年9月1日発行（毎月1日発行）  
1947年10月27日 第三種郵便物認可  
本体価格45円（外税）（送料62円）  
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号  
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641  
URL：http://www.ymcajapan.org/  
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅  
印刷／あかつき印刷株式会社



# 誰一人取り残さない

## —SDGsの担い手としてのYMCA



### SDGsとYMCA

大森 佐和 (国際基督教大学 上級准教授)

OPINION

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals, SDGs)」は、2015年9月の国連総会において全会一致で採択され、2016年から2030年までの15年間で達成しようとする世界各国が取り組んでいる開発目標です。SDGsは、17の目標と、それぞれの目標を達成するための169のターゲットから成り立っています。

SDGsは、「ミレニアム開発目標 (MDGs) (2000～2015年) の後継となるもので、「世界中の極端な貧困に苦しむ人びとを半減する」など、8つの目標を掲げ、実際に極端な貧困状態にある人びとを、19億人から8億3,600万人に削減することに成功するなど大きな成果を上げました。

MDGsでは途上国の貧困削減に主眼が置かれたこともあり、経済成長優先か環境保護優先かという点では途上国と先進国の間で対立を生みがちでした。しかしSDGsでは、むしろ持続可能な開発には貧困削減が不可欠であることから、これらの2項対立を超え、貧困の削減、社会的包摂、環境保護の3つを統合しました。そしてSDGsの最大の特徴として、先進国や途上国を問わず、「誰一人取り残さない」ためにすべての国で行政・企業・市民セクターを問わず、達成すべき開発目標として設定されたのです。日本では、7人に1人の子どもが貧困の状態にあり、ジェンダー平等や障がい者の社会参画など多くの課題を抱えています。これらも、SDGsが取り組むべき日本の重要な課題です。

YMCAは、災害・震災支援や、途上国の子どもたちのためなどの国際協力、国内の子どもたちへの場の提供など、SDGsの達成に大切な役割を果たしています。青年や女性の意思決定への参画を進めるというYMCAの動きも、YMCA自体のガバナンスにおける包摂性を高めるものです。最近では、敵対、差別、排除を思わせる国際的、国内のニュースが目立ちます。また、「中立的」であることを標榜し、こうした状態に無関心な日本社会の傾向が強まっていないか心配でなりません。

こうした時だからこそ、日本の課題、世界の課題に取り組むYMCAの活動が、SDGsの達成を後押ししていく、そうしたステークホルダーとしてのYMCAの役割に大きく期待しています。

(OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎月、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。)



※SDGs、17のゴールのアイコン

SDGsはその理念として「誰一人取り残さない」という言葉を掲げていますが、私たち一人ひとりの未来が深く関わる、しっかりと向き合わなければならない目標です。

本紙は5月号から、紙面の右肩にSDGsのアイコンを入れてきましたが、日々行

われているプログラムの一つひとつが、実は「誰一人取り残さない」ための役割をすでに担っています。

YMCAせとうちの「うのクラブ」(学童保育)において、地域の人びとが主体となり協働しながら子どもたちを支える、新しい形でのポジティブネットについてご報告します。



「宿題することだけが目的ではない。食事を提供することだけが目的ではない。それより大切なことは、子どもたちに《あなたの周りには、信頼するに足り得る大人が大勢いるということが伝わること》それが、私たちの大人の果たすべき責任である」

これは、うのコミュニティハウスを管理して下さっている地域の方々の声です。



YMCAせとうちが、岡山市立宇野小学校の中で学童保育に携わるようになって、10年が経過しました。この学童保育は、保護者や地域の方々と共に協働するという形で運営しています。この間、さまざまなプログラムを開発してきましたが、そのどれもが「協働」をベースにしてきたことには意味があります。町の環境悪化を憂えて始まった「落書き消去活動」。子どもたちの安全確保を目指して始まった登下校

時のパトロール活動。校長先生の発案で始まった「放課後宿題教室」、そこから発展して誕生した子ども食堂。それら諸活動を担う機能を持つコミュニティハウスの学校内への設置。どの活動も、この学区の住民の暮らしや子どもたちの成長を支援し、より良い地域づくりの創造を目的として実施されています。

町内会長、小学校の先生方、民生委員。運営にはさまざまなネットワークや能力を持った方々が携わっていますが、各自が「子どもたちを真真中に置くこと」を前提に、自発的に目的を共有できています。そんな中で、私たちYMCAも、これらの活動の一端を担わせていただいています。

It takes a village to raise a child. (子ども一人が育つのに、村一つが必要である)。アフリカのことわざの一つですが、子どもの育ちの必要性をわがこととして捉え、そこに暮らすみんなが力を合わせることの大切さを教えています。

人生は順風満帆ではありません。今は順調でも、何かほんの些細な出来事や決断が、予想もしない

致命傷となってその人生を壊してしまうことがあるのです。今の日本は、そういった些細な出来事が「暮らすことの困難」に直結する可能性のある社会と化しています。すでに、そういった落とし穴に落ちる人たちが急激に増えているということも統計に表れています。これは人ごとではないのです。それゆえ私たちの社会を持続可能ならしめ「誰一人取り残さない」ためには、みんなの力を寄せ集めればいいのです。その寄せ集めをYMCAは「ポジティブネット」と名付けました。YMCA単独のプログラムでできることは限られていますが、地域とつながり、その働きの一部を担うことで、持続可能な仕組みへと変化できるのです。



## Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

### 第20回日本YMCA大会 参加者募集中! つどえ東山荘に!~すべての“Y”がつながる日~

記念すべき第20回のテーマは「つどえ東山荘に!~すべての“Y”がつながる日~」。世界YMCA同盟チェンジ・エージェント、学生YMCAのメンバー、都市YMCAで活動するユースリーダーが中心となって本大会の企画運営を行います。

昨年10月にYMCAは新たに「みつかる、つながる、よくなっていく」というスローガンを掲げました。その後初めてとなる今大会は、私たちが普段関わることのない分野の仲間との出会いやグループワークを通じた仲間との語り合いの他、「子ども・キャンプ・学生YMCA・ユースの課題・国際協力・平和・災害支援・キリスト教・福祉」などを題材としたテーマ別セッションから新たな気付きを得て、自分がYMCAを通じて実現できる夢や思いを描く3日間です。大会に参加して未来のYMCAを創っていくのは私たちです。あなたのYMCAへの思いを発信し、全国のYMCAにポジティブネットを広げませんか? 皆さんのご参加を心から歓迎いたします。

日本YMCA大会実行委員 毛塚 雄太郎 (千葉YMCAユースリーダー)

日時: 2018年11月23日(金・祝) 14時受付開始、25日(日) 13時解散  
場所: 日本YMCA同盟 国際青少年センター東山荘 (静岡県御殿場市)  
\*お問い合わせは日本YMCA同盟事務局まで

大会公式Facebook



<https://www.facebook.com/japanymcaassembly/>



第19回大会(2016年10月)。ユースの実行委員が進行

### 一般財団法人日本宝くじ協会から寄贈

一般財団法人日本宝くじ協会より、集会用テント36張、宿泊用テント42張を寄贈いただきました。テントは全国22YMCAのキャンプ場および施設に配布され、それぞれの活動に使われます。

7月6日に行われた受領式では、東京YMCAから昨年度の活用報告がなされました。



多くの親子連れでにぎわった「しんじゅく防災フェスタ」(東京YMCA)

### 西日本豪雨災害 YMCAポジティブネット募金 ご協力をお願い

2018年7月のはじめに西日本を襲った記録的豪雨は、12府県にまたがり死者220人、行方不明者も9人(8月2日現在)という甚大な被害が出ています。

YMCAは、被災地でのボランティアワークなどの支援にとどまらず、中長期的な視野に立って人びとの困難に、寄り添い続けます。コミュニティの復興支援を目指し、全国のネットワークや特性を生かした活動を展開していきます。皆さまのご支援をお願い申し上げます。

広島県、岡山県を中心に、全国のYMCAの協力のもと、支援活動を進めてまいります。

※「子どもたちへのレクリエーションや心のケア」「夏期キャンプ活動への招待」「支援ボランティア(泥出しワークなど)」など

募金期間: 2018年7月14日~10月31日

<郵便振替口座>

00130-4-696497 日本YMCA同盟災害支援募金口

\*通信欄に「豪雨災害」とお書きください。

<ウェブサイトから>

<https://srv.asp-bridge.net/ymca/privacy/7>

\*クレジットカードをご利用いただけます



#### 【お詫びと訂正】

2018年7・8月号2面に掲載された青山鉄兵さんの、大学名の漢字に間違いがありました。正しくは「文教大学」です。お詫びして訂正させていただきます。青山さま並びに読者の皆さまには深くお詫び申し上げます。